滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人幷無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議
從減　每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

料金　一ヶ月以內　長期連掲減價面議
發行所　清國營口中盛街　滿洲日報社　(電話二九番)

紅糧價錢五吊四百文至五吊
煤車共上車三十餘輛　共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙　一連
フールスカツプ　仝
中判洋紙　百枚
半紙野紙　四十枚
卷紙
四圓　二圓　二十錢　十四錢

一椅子　一籐筒　一卓子　一卓子掛　一廚房用戶棚
一圓五十錢以上四圓五十錢　三十圓以上三十五圓　四圓五十錢以上十三圓五十錢　六圓以上十二圓　七圓五十錢以上十圓

一長火鉢　一箱火鉢　一宜德火鉢　一對
八圓以上十一圓五十錢　二圓以上三圓五十錢　六圓以上九圓

告示

大日本帝國營口監督與倉
出示曉諭事照得貨財爲商業發達爲之資格制實貿易繁興之具故必法歸畫一乃可通行更須製造無訛始堪信用熟考當埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛英洋錢有好人龍錢有擇大邊錢者他若抹銀錦寶小洋錢等製造不同嗜好各異不可名爲流通貨幣又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅今南滿洲到處通行當埠亦交易稱便然自平和克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店鈔票關東總督告示確有明文橫濱正金銀行所發鈔票其持至該銀行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換故自今未盡收回之手票與鈔票銀圓皆爲當市之流通貨幣用此等銀錢充兌買賣存欠各賬目實爲公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認自示之後仰闔埠人等一體遵照勿違特示
右諭通知
明治三十九年二月

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所
橫濱　神戶　東京　長崎　大阪
倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇
孟買　香港　上海　天津　北京
大連　旅順　奉天　芝罘　鐵嶺

電話　十一番　支配人室　百八番　事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

賣捌並廣告取次所

連大市稼岐町三百三十八號　日華運輸公司
大連市盤城町四十九番地　岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同　全泰號
遼陽　遼陽俱樂部　谷口令朝太郎

三井洋行

啓者本行開創在中外通商各埠己有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷者

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候(電話百二十八番)

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤鶴印幷一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋縀子洋胰鐘表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請暫臨爲幸

運輸部
運搬特得官准開設火車轉運行於東西兩店幷牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚
總司理人田中賴之助謹白　電話　東店五五　西店一〇

三井洋行經理
明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議(電話六十八番)

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並滙兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡沿輪船裝卸貨物極爲利便囤貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是荷
總司理人葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物幷代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之
正理事潘玉田　副理事金德魁　設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞
本主人敬啓

仁裕號

保裝運各幫火輪船生意兼賣各制洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙寶燒船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代木烟公司

本行專售日本官造紙烟　星象牌(斯達)櫻花牌(撒利)百合花牌(利利)均已馳名內外玆特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沾來福)清香撲鼻佳美適口而價值極廉諸尊欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名四遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價值格外從廉克已凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需　國本主人啓

生徒募集

營口　瀛華實學院

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し曩に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部　河岸通(電話五十二番)

東營口郵便局東隣
●島田洋服店●
新民屯停車場前
●同支店●

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄
婦の入院を諾す(取扱主任産婆大道しげ子)
院主　森翳
醫長　鈴木昌平
營口永世街(電話一五五番)

大日本政府特定
營口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鏡子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町　藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉　賜顧者請光臨本舖面閲是幸
田中牛莊分莊謹啓

材木販賣
荒物
秋田洋行
營口永世街第一八四號平野町
本店　下關　秋田寅之輔商店

●雜貨卸小賣商　附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

新民府孫家街
東洋號

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物產合名會社
牛莊支店(電話六七八番)

電氣諸機械
大販賣
本店　天津日本租界電話三一〇〇
支店　營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部(電一五四番)
主任　朱牟田寅吉

白煉瓦
瓦
造
並ニ各種石材販賣
營口青堆子
加州組

東京電報

●豫算案の上院通過
豫算案全部衆議院の議決通り昨六日無事貴族院を通過せり

●露國皇太后退隱
露國皇太后陛下には此程丁抹國へ御退隱遊はされたる旨電報あり

●税法調査費確定
税法調査費五萬圓は衆議院に於て可決確定せり

●鐵道國有案提出
西園寺首相は昨日を以て鐵道國有案を衆議院に提出し其理由を演説したるが差したる反對の聲も無く委員附托と爲る

●碎氷船の青森着
碎氷船大禮丸は五日コルサコフ發八日青森着の豫定なり

●壬生伯の薨去
維新七卿の一人なる壬生伯は本日薨去せらる

●興銀支店の開設
添田興業銀行總裁京城に着愈々支店開設に決定せり

●米國公使の警告
駐北京米國公使ロックヒル氏は外務部に對し排外熱の防禦手段に付き警告せりと

●本野公使の赴任
新駐露公使本野一郎氏は一日巴里を發し已に露都ペテルブルグに着任の筈なり
（以上三月七日發電）

倫敦電報

●英國僧正の入籍儀式參會
英國のステレンハムの僧正はバッテンブング內親王ーナ殿下の西國サンセバステンに於て舊教議員に入籍せらるゝ儀式に參會すべし

●佛京御滯在中の英皇
英國皇帝エドワード陛下は佛國大統領ファリエル氏を御訪問の上三十分間談話ありたり大統領ファリエル氏は其後直にエドワード陛下に答禮せり陛下は巴里の佛國大使館に於て大統領ファリエル氏同夫人首相ルービエー同夫人及びド、クールセル男等を招待して晩餐を饗されたりド、クールセル男は去月佛國特命使節として獨國皇帝ウイルヘルム陛下をコーペンハーゲンに御訪問申上け其後再び同陛下に伯林に於て謁見首相フオンビユロー公と協議を凝したる人なりしエドワード陛下は今日前大統領ルーベー氏を晩に餐請待せり
（以上三月五日發電）

雜報

●南清の排外熱
楊子江沿岸一帶の地方に於て近時清國人の排外熱盛んに起りて中には一種の日本人排斥分子をも包含し居るやの風説さへ傳はりて現に福州に於ける本願寺出張所の燒失の如きは幾分此間の消息を窺ふに足るものなきに非ざれども其裏面には上海に於ける暴動事件を以て偏へに日本人の煽動に出づるものと妄信し居れる外國人等が幾んど復讐的に清人を挑發使嗾したる形跡も亦全く之れ無きにあらざれば是等を以て直に清國人の日本人に對する惡感情の餘波とのみ見るは皮相の見たるを免れず要するに一般排外熱も我政府の忠告及び內田公使の警告に依りて漸次鎮靜に歸しつゝあれば此上何等か特別なる一事變の發生するに非ざれば暴亂の爆發するが如き虞は萬之れ無るべきも今後假に往年義和團事件の如き暴動の起ることありとすれば其の生出地は北清にあらずして楊子江沿岸の南清地方にあるべきは今日の形勢上必ずしも誣妄の言にはあらざるべしと

●日英同盟と印度の減兵
香港デーリー、プレッス所報に曰く倫敦一新聞の報ずる所に依ればキッチナー將軍は印度陸軍編成改革に於て日英同盟條約を現實的價値あるものたらしめたり將軍が同條約に依り印度の減兵を行ふは上部緬甸の土族略ぼ靜平にして清國々境方面よりの紛爭も亦殆んど見るべからざらんとするに因るものなるが將軍は既に英國步兵並に土着步兵五大隊を減少するに決せり但し其減少は漸を以て行はるべし云々

●日韓關稅同盟
東京、大阪、京都、神戶、名古屋の五商業會議所會頭は、此の程來數回の協議を重ね昨年十月の全國商業會議所聯合會に於ける決議の主旨に基き日韓兩國の關稅同盟の件に關し伊藤統監に宛て建議書を提致したる由其の主旨は日韓兩國は啻に通商貿易上密接なる關係あるのみならず政治上亦特別の關係を有するものなるにも拘らず相互に關門を設け他の列國と毫も異なる所なきは彼我國際利益の發展を圖る上に於て最も遺憾なれば速かに關稅同盟を結び由て以て益々兩國の利益を增進せられたしと云ふにある由

●大學獨立問題
大學問題は戶水博士の復職により一段落を告げしも尙は其根本の問題たる大學の獨立は未だ解決を與へられざるより憲政本黨の代議士中之に就て今期議會に建議案を提出せんとの議起り目下合田〇太郎氏專ら其調査をなし居れるが氏の意見にては大學の組織をば政府管督の下に自治獨立の制度となし其經費は國庫より每年定額を支給することゝし而して敎授の待遇は之を官吏とせず衆議院議員の如く名譽職として優遇することゝすべしと云ふにあり

●統監の滿洲視察
伊藤統監は着任後一通りの事務を整理し京城は勿論釜山、元山、平壤、木浦、馬山浦、鎮南浦其の他の要地を巡廻し引續き鴨綠江附近より滿洲に至り各要地の視察を爲す由にて約二箇月位を要し滿洲には井上伯も同行の筈にて出發は多分四月中旬ならんと

●五百萬圓の使途
三十九年度臨時事件豫備費陸海軍復舊費中より削減したる五百萬圓の內約三百萬圓は農商務省所轄の國本培養費に充つる筈にて目下調査中なるが右金額は議院決議の精神に基き三十九年度限り支出し繼續費の性質を有する事業は之を避け多分耕地整地種牛馬購入農事試驗場に備ふる機械等に支出するに至るべく又殘額二百萬圓は遞信省所轄鐵道電話費に使用せらるへしといふ

●陸軍紀念日の祝賀
曩に陸軍大臣の達を以て三月十日を日露戰役の陸軍紀念日と定められたることは既報の如くなるが右に付來る三月十日午後一時より同紀念會に兼て偕行社創立紀念會を九段偕行社に於て開會し角力の餘興ある由當日參會者の心得左の如し

一、武官は通常禮裝若くは、軍裝、文官はフロックコート着用の事
二、當日餘興として午後一時より角力を擧行す若し雨雪ならは翌十一日午後一時より擧行の事
三、宴會は餘興後（午後四時半頃）開會の事
四、社員の家族二名に限り角力觀覽券を呈すへきに付同參觀希望者取調へ人員通知と同時に通知の事

●博覽會開催調査
既報の如く政府は數年後に開催さるべき大博覽會調査費として不日二萬七千圓を議會に要求するに決したるが更に聞く所によれば世界的大博覽會たらしむる計畫にて隨て之れが建築物の設計技師の俸給その他の調査に多くの費用を要するを以て兎も角てれが調査費を要求する次第にてその調查事項中には第一に博覽會の規模を一定し其規模に伴ふ開會地の選擇及び開期々限等を定むる事をも包含し調査委員には各省より夫々任命すべしと尙當局者の意向は次回の博覽會は憲法發布廿五年紀念（明治四十二年）とか或は關稅更新の時期（明治四十三年）とか歷史を有する年柄を選定せられんとするものゝ如し

●滿洲側面觀（承前）
▲滿洲の解放　滿洲の將來か暗黑を意味するに於ては苟も事變に處置するに足る可き充分の豫備あるに非れは解放は唯た名のみにて其の實を擧る能はさるは智者を俟ちて後ち知らさる所とす今夫れ顧て將來の事變に應す可き豫備に付て觀れは僅に我か二個師團の兵力あるのみに過きす而して二個師團の兵力か萬一の場合に際して充分の力ある能はさるは復實に前述の如し之れに依りて之を觀れは滿洲は其名に於て解放せられたるも其實に於ては未た解放せられすと謂ふて可也

▲世界の利益　滿洲の解放は帝國の夙に唱導せし所にて復た列國の共に贊同せし所とす今即ち日本軍の威望に依り滿洲の靜平永遠に確保せられんか苟も滿洲に志を有する者は先を競ふて來住し以て經營の事に從ふへし斯て初て滿洲は名實共に世界に解放せられたる事となる而して日本軍か其威望を發揮して滿洲の靜平を永久に確保するは蓋し六師團前後の兵力を必要とせんか今請ふ假に其の兵力を六師團と算して之を論せん斯の六師團の兵力は滿洲の治安を永久に確保し以て解放を事實に行はしむる所の保證也顧て其の帝國の主議國論に違反せさるは勿論抑も亦た世界共同の利益と謂ふて可也何國か復た敢て異議を挾むあらんや

▲清國の利益　斯の如きは世界の利益たると共に復た當に清國の利益也、清國は我軍の駐屯に依り第一に現在は勿論將來の事變等に對しても憂慮するの必要無く、第二に其の駐屯に依り武術に於て、衞生に於て、敎育に於て非常に知識を收得す若し夫れ間接の利益に於ては其他擧けて數ふ可らす而して顧て其の損害を觀察すれは殆んどあるなし蓋し清國の利益に非ずして將た何んとか云はん

▲模範の守備　其地名は今ま記憶を逸せるも慥に天津と山海關の間に位する某地なりと信す有名の漢學者岡千仭先生の令息某を以て其の隊長と仰ぐ我か守備兵の一團あり深く土人の尊敬と信用を得嘗て其節の命令に依り軍を擧けて歸朝せしめんとするや一体の土人其の分るを惜む宛も赤子の慈母に別るか如く切に其の留任を請ふて已ます而して遂には知縣より公然、我政府に其の留任を交涉哀願するに及び我政府に於ても亦た深く其意を諒とし命令を取消して依然其地の守備に任せしめたりと云ふ、之れ豈に模範の守備に非すや蓋し今日の滿洲我守備兵の凱旋を悲觀する復た斯の如きの土人各所に甚た少からさるへし即ち倣ふて某地の例に從ふ妙ならすとせす夫れ然り之れ實に妙也、然れとも今日に於ては宛も死兒の齡を算するに異ならず豈に遺憾千萬に非る無きを得んや

▲吾人の決心　滿洲の將來は暗黑の將來也、暗黑の將來に對する吾人の決心は如何固より自衞に在り自衞の覺悟ありて而して軍隊の保護を仰く其の保護の力、强からすと雖も、時に多少の効力を覺ふ可し、若し之に反して軍隊の保護を深く信して經營の事に從はんか或は恐る、身命と財產と併せて失ふの不幸に陷る無からんを余輩か將來に於ける決心は自衞に在り余輩をして其の決心茲に至らしめたる抑も誰の罪と爲す、而して自ら衞るに足らさる者は滿洲に於て經營に從ふ能はさるを思へは余輩實に邦家の將來の爲に遂に一掬の涙無き能はす（完）

以上の記事は假に題して滿洲側面觀と稱へしも其語りたる本人の意中を忖度するに滿洲の經營を談するに在りたる如し唯た談中公表を憚る點尠少にして足らす即ち假に側面觀と題し其の差支無き部分のみを記述せり若し記事を見て隔靴掻痒を覺る者あるは實に之か爲也

●鐵道輸送業者に就て
一時營口の一大利源問題として我先きにと競争出願したる彼の鐵道輸送業も其後二萬圓の保證金の爲に一頓挫を來たし實際に於て其保證金を提出したる者は僅に十四名にして無慮輸送權を獲得したる者なるは屢々報道したる所なり然るに今其內容を聞くに同保證金を提供して輸送權を得たる者は素より公衆の荷物輸送を營む權利ありと雖も近來日本人中狡猾なる才取なる者ありて常に停車場或は市中を徘徊し支那人にして貨物を推積しある者あれば直ちに所有者に向て自己に托送方を勸告す清人は一日を爭ふ商品の事とて甘んじて承諾す爰に於て所謂才取なる者鐵道當局者に向つて貨車の配布を請求するに當り貨物主某の代理者なる旨を述べて其貨物を輸送し其手數料として若干の報酬を得つゝあるを以て曩に巨萬の保證金を納付して輸送の許可を得たる者は其實際に於て何等の益をも得る能はさるに至る尙其信僞は門外者の知る所にあらされとも頃來道路の風說に依れば當局者と才取なる者の間に於て大に情實の纒綿し居る由にて今其輸送業者より聞く所に依れば目下鐵道輸送取締は兵站部の手を離れ鐵道驛員の專斷にて貨物の配付を實行しつゝあるものゝ如し、此機に乘じて所謂才取なる者と驛員間に於て或る條件の下に契約を結び居れりと云ふ今其一例を記せんに某才取なる者清人より輸送を請合ひたる節其係員に報酬を要すとて自己の懷中より十錢廿錢或は五十錢と寄せ集め金を白紙に包み居りたる所該清人は曰く小札はポケットに入るゝは非常に嵩まるを以て五圓札或は十圓札に交換すべしと注意を促したりと言ふ果して信ならば眞正なる輸送業者の不滿は固より當然の條理なると共に鐵道局員の不正行爲は實に憎みても尙餘りある次第なり敢て當局の一考を煩す

●郵便局昨今の預金
昨今に於ける牛莊郵便局の預金は引出最も多く預入は甚た少し而して引出は主に戰地に於ける野戰局の預人に係る者なりと云ふ即ち昨今一日の拂出は四百圓前後にて就中半分は啻に野戰局の取扱に係りたるものとす野戰局の取扱に係りたる分は金額は半額なりと雖も預入は大抵小口なれは其口數は優に普通預金の二倍に上り頭數甚た多しとなり因に昨今仝局に於ける引受の爲替は其拂渡局を大阪神戶等に指定する者最も多しとなり

●日本人會の昨今
仝會か過日婦人會の開催に係る慈善市の殘品處分を引受け會場に陳列して販賣しつゝあるは共に知る處なるか其事務に關しては近況杳として知る無し數日前某あり仝會評議員某氏に付き日本人會の近況を問ふて曰く日本人會は其後大に改良せられたりとか近況必す聞くに足る者あらん願くは語るに其詳細を以てせよ某評議員は元と熱心なる日本人會の辨護人也記者會々其傍に在り心中獨り以爲らく例に依り巧に言ひ黑むる所あらん請ふ試に之を聞かんと伺んそ計らん其答は實に左の如く者も爲に呆然たりき曰く日本人會は近頃生死不明であります某吏に突込み問ふて曰く食事は如何す評議員某再び徐に答を發して曰くお蔭食物は行る樣てすと流石の某も玆に至つて復た問ふ所あらさりき讀者乞ふ安んせよ日本人會は尙ほ健全なる如し

●昨今の旅行者
昨今軍政署に其旅行を屆出る者は每日約そ七八十名にして就中其行先地の最も多きは鐵嶺奉天等營口以北の地にして之に次くは大連なるが營口以南の地に旅行する者は大抵大連を目的地とせる如しと云ふ

●鐵嶺行婦人數
鐵嶺が昌圖と共に來る十三日より婦人の住居を許さるゝ事となりたるは昨日の紙上に記述せる所なるか聞く所に依れは鐵嶺行希望の婦人は營口に於て尠少ならさるに加へて今日迄に鐵嶺に於て開業せる旅館業者は槪ね既に營口に於て或は大連に於て多數の婦人に對し解禁と同時に鐵嶺に入込む可く契約し居れりと云へは十三日以後の鐵嶺は定めし見物なるへしと云ふ

●日本人會と家賃値下の依頼
今日迄に日本人會に對し家賃の値下を依頼し來りたる者は四十名以上なるか中に於て仝會の盡力に依り無事其目的を達したるは十四五名にして仝會を經由して軍政署に訴へ出て憲兵の盡力に依り目的を達したる者又た十四五名あり而して殘餘の十餘名は今ま尙は仝會の盡力を待ちつゝある者なりと云ふ

●遼河龜裂を生ず
滿洲の冱寒と叫びしも今は昔と過ぎ去り昨今の溫暖に遼河は處々に龜裂を生じ最早馬車の氷上を驅驅するは餘程危險なる由此模樣にて推し行かば解氷の期も近きにあらんとなり

●岡山孤兒院一行に就て
昨紙岡山孤兒院一行來營せし如く揭載せしは記者の誤聞にして同一行の人々は昨今大連に於て日々凱旋軍隊を歡迎しつゝある由にて同地は來る十二日を以て引揚げ十三日頃來營する筈にて其準備として事務員大江氏一人のみ來營せりと云ふ因に一行は孤兒音樂隊十二人事務員大江及光信の二氏なりと

●瀨川領事及び夫人の盡力
別項揭載の如く岡山孤兒院一行來營に就ては出來得る限り盡力せらるゝ由にて一昨夕當地の主なる篤志慈善家十余名を招き晚餐を共にし熱心に該院事務員を紹介し幹旋の勞を執られ各自に於ても大に贊成し種々院內の現景を聞き散會せしは十一時過ぎなりと云ふ

●鈴木長崎兩氏の出張
當軍政署鈴木一等軍醫及び長崎雇員の二氏は署用を帶び天津へ向け出張せりと云ふ

●藥種業者の懇親會
市內にては目下邦人の藥種業を營む者十數軒に及べるが從來個々割據の結果として支那人に商利を佔有せらるゝを遺憾とし同業者中の中馬淺野二氏發起と爲り昨七日晚其懇親會を祇園閣に開催し同業者規約等に就き協議し十二分の歡を盡くして散會せりといふ

遠征雜詩　犀堂

異國從征

異國從征路緩紆　衝寒犯暑苦馳驅
若非韜畧機謀廣　焉有英雄五尺軀

含情不語

亂世誰憐卓越才　抱琴人在望夫臺
含情不語心中事　長歎一聲畫角哀

文明第一州

戰士同心赴敵讐　外交成敗郤深愁
太平歸國團圓日　世界文明第一州

汽車

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幇子	上六、〇〇	上九、五七
營口至溝幇子	上八、二〇	下六、〇〇

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發着時刻表

大連奉天間　下り列車

驛名	發着時刻
大連	發午前九、〇〇

上り列車

驛名	發着時刻	
遼陽	着午後三、五〇	發四、五五
大石橋	着〃一〇、三二	發一一、三五
金州	着翌前二、一〇	發三、一〇

大營口線　下り列車

驛名	發着時刻
旅順	發午後五、三三
大連	着〃

上り列車

天氣豫報

營口地方天氣豫報　自三月七日午後六時　至三月八日午後六時

小説

新作小説 おとし胤（七）

德田秋聲

「お孃樣、何を其樣なに考へてゐらツしやいます。東京には阿父樣が何樣なに貴方樣を待たせられて居られませう。」

と合田は、光に頭を振られては大變と思ツて氣が氣で無い。

「阿父樣か……」と光は、眼を輝かして、

「阿父樣が私を待つてゐて下さいますの。」

「然うです然うです。」

「ぢや私參ります。」と謂はうとして、ふと祖父樣の顏を見ると、これはまた何か故があるやうに嚴しい顏をして、おろり光の顏を見る。何んの故か、光は冷として、襟元から水を浴せられたやうな心地。

「光、能う考へて返事をせえ。後から悔むやうなてとを爲ては取返しが付かんぞ。此の祖父は、何れとも其方の心に委せて、決して彼是謂はん。」

と寛爺は、嚴に言渡す。光は、心が迷ツて、とつおいつ思案の躰。

夢に夢を見る心地とは、恐らく光の今の心地であらう。光は昨夜まで、自分に父が有るか無いかといふてとさへ確に知らなかツた。況して其の父が、昔は此の國の藩主公、今は華族といふ高き身分の人であらうと思はなかツた。それで彼女は、

「これは、眞箇のことかしら？　眞箇に私の阿父樣は華族樣かしら？」と幾度となく疑つて見るのであつた。

光の今の心地と謂ツたら、悦しいのでも無ければ、樂しいのでも無い、たゞ驚いてゐる、不思議がツてゐる、何んだか氣がそは〱して、心は何處へか飛んで行ツて了ツたやうに、何んの考も無ければ分別も無い。

「私には眞箇に阿父さんがゐらツしやるのかしら？」

光は、其の父が藩主公であるといふよりも、華族であるといふことよりも、第一に自分にも父があるといふことが悦しくてならぬのだ。それで第一に、それが疑はれてならぬのであツた。固より此の疑は單純である。雖然此の單純な疑は、複雜した種々の疑を引出して來る。恰で白い雲の後から、黒い雲が出て來るやうな有樣である。

「それにしても、お祖父樣は、今まで何うして、私に阿父さんのあることを有仰らなかツたのだらう。」

さア、其の譯が解らぬ。何れ何か深い譯のあることであらうが其の譯が解らぬ。此の譯が解らぬから、また、

「一体私の母樣は、父樣と御夫婦だツたのかしら？　御夫婦だとすれば、父樣は何故、母樣と私を此樣な田舍へ放擲つてお置きなされたのであらう。母樣は何んだツて、お祖父樣の許で、恐ろしい苦勞をしてお亡くなりなすツたのだらう。」

此ういふ疑も出て來る。雖然幾ら疑ツて見ても、何んにも知らぬ光に、此の疑が解けるもので無い。此の譯が解るもので無い。

「あゝ、何うかして此の譯を知りたい。誰か此の話を爲て聞かせて與れる人は無いか知ら？」

光は、昨日まで此樣なてとを考へやうとも思はなかツた。此樣な疑を起さうとすら考へなかツた。父が在るといふてとの解ツたのが、また父の身分の解ツたのが、彼女に取ツては幸か、不幸か。彼女は現に今まで覺えぬ氣懸に心を惱ますのであツた。

十七と謂へば、花の咲いたやうな時代。これから雨が降る、風も吹く、彼女に人生の長い旅は、雨か、風か。低氣壓は疾や、彼が眼前に現はれて來てゐるのでは無いか。

其は兎もあれ、彼女が夢を見てゐるやうな單調な心は、此の疑に依ツて、此の時よりして確に破れて了ツた。

光は、此の怪しい疑に惱まされて、默ツて考込むでゐると、合田は、もどかしがツて、

「お孃樣、さ、何れになされます。貴方樣のお心一ツで、何れとも事が定ツて了うのでございます。」

雜報

●鐵嶺通信

三月三日　朶村生

清兵の暴行事件

鐵嶺城西關内日津茶園（清國戯場）に對し清兵の暴行事件發生し一時容易ならさる光景を呈せるは時節柄日清人の注意を惹ける事にして經々看過すへきにあらさるを以て今細探せる事實を報せんに

去廿八日午後六時日津茶園に於て清兵二十餘名暴行し同園の戸障子を破壞し清人數名に負傷せしめ事態不穩なりとの急報に接せる我軍政署警務部は即時憲兵を派して清兵に説諭を加へ之れを禁遏して退散せしめ一時平穩に歸せるに同夜十時頃に至り其哨官は武裝せる兵數十名を統率して再ひ前後より來襲し先つ周圍に哨兵を置きて家人の逸散を塞き放銃せる後抜劍吶喊門戸を破壞して前後より屋内に闖入し戸障子家具を破毀して行動を自由ならしめ隨て家人十餘名に銃劍打撲傷を加へ金品を掠奪せる上將に其家屋に放火せんとし剩へ西門並に鼓樓の兩所南北各胡同の數ヶ所に銃劍の哨兵を配置し日本人の通行を阻止せるの報あり

我憲兵は急馳其鎭撫に向ひたるか同園の隣家には我商人の店舗あり同樣慘憺たる光景を呈せるを見强硬なる態度を持して此混亂場裡に臨み直ちに鎭遏の功を奏し翌日全く平穩に歸せるは該城の慶事とせさるへからさると同時に巡警隊長玉保申の伍伴にありしを惡ませるへからす事の起りを尋ねるに平常同園に含む處ありし彼巡勇は此の日水汲に出てたる苦力の清兵の家族と些細の爭論を惹起せることありしを奇貨とし報復の目的を以て此暴行を企てしものにして敢て他意あるにあらすと云はんかなれとも此巡警隊なるものは奉天將軍の警務所の直轄に係り各地に分派せられ嚴格なる規律の下に地方の安寧秩序を保維し兼て馬賊の出沒を防遏すへき任務を有せるものにして當地の如きは馬隊百名歩隊百名あり其任重大なるものなるか彼の部隊は將軍直屬なるを恃み地方官憲及人民に對して威力强く之れを利用して常に人民より金品を强請し强窃賣を行ふ屢にて僻陬の地馬賊の出沒を聽くや其部隊は直ちに出てゝ地方人民より金品の强請掠奪を敢てし却て安寧を害するを以て一般人民の嫌惡甚しく殆んと蛇蝎視して敬遠せるの姿にして鐵嶺知縣すら馬賊出沒の報に接するも公安保持上殊に同隊に討伐を知照せすと以て同隊の如何に不規律なるやを表現するに足らんか將軍直轄の巡警隊なるものは元來各地に出沒する處の馬賊及市井不逞の徒より招募せるもの多數にして到底軍隊編成の大綱に適せさるものなりとは既に各國識者の定論あり其弊害を指摘して廢滅せしむへきものなることを認め居れるは日露戰役以前既に屢々吾人の耳にせることにして今更喋々を要せさると共に戰時行動繼續期間にありては殊に彼徒の跋扈を强壓するは最も必要なる條件に屬するを以て當然我督憲の注意を拂へるものなるを信す且巡警隊長の部下と倶に行動せるを看るに於ては我軍事行動を無視せるものと認むると同時に各所哨兵を配置して我凱旋部隊の通行路に於て邦人の通行を遮斷せるか如きは決して看過すへからさるの重大事なりとす

●鹿爪錄

小供の頃英語を始めて敎はつた時分英語のアールは日本語の『ある』と同じぢやと謂つて大層不思議に思つたものである▲支那と朝鮮とは同文の國であるから同一の言葉の多いのは當然である殊に支那語と來たら殊に多いやうである故に若し支那語が我邦に來て變化した其筋道を組織的に研究する者があつたら其變遷の跡が一目瞭然として知ることが出來るのである▲日本語で炭、隅は其訓が同じくスミである露西亞語も炭はウーゴリといひ隅はウーゴルといふので日本のそれと殆と同じいのは不思議である是れも露西亞語の初歩をやつた者は誰れでも見付ける所で別段自分の高名でも無い（□□生）

投書かご

▲僕が此間綏定門街で出遇つた男は慥か昨年退去處分を喰つた男であつた眞逆見違ひでも有るまいと其後絶えず不思議の感に打たれて居るのである（怪訝生）▲僕は營口に來て約一ヶ年に爲る折節料理屋へと進撃する藥九層倍といふが料理屋の不當な捲き上げ方は言語道斷である先日も或處でビール二本梨三ツで一圓八十錢取られて魂消たいベー（喰客）▲カーチャン！郵便局の時計は何時も居眠りをして居りますよ日本で學校の先生が時計の針の休む時無くツて修身に敎はましたが先生でも矢張り虚言を言つてイクない事ネー（一少女）▲日報倶樂部で遼南漁長といふ男來る十日の陸軍紀念日に滿洲在留邦民たる者亦相當の祝意を表する方法を取るべしなど大氣𦦨であつたが滿洲半分位で祝杯なども大國民の度量で無い（望蜀生）▲横舘生君に告ぐ好意多謝一たび相見て敎を乞はんとす貴姓と御宿所と御一報を得ば不佞が至幸也（編輯稻垣生）

廣告

公告

電話交換加入者募集

當局電話交換加入希望の者は至急申込可し

追而二月十五日以前に申込みあるも未だ架設に至らさるものは重て申込を要す

明治三十九年三月三日

營口軍政署電話局

廣告

左の日割に依り支那馬賣却す買受望の者は午前九時より參集すべし

日割	競賣場
三月七日より十五日迄	遼陽城内南門にて
仝　八日九日	牛家屯にて
仝　九日十日	旅順にて
仝　十一日	瓦房店にて
仝　十五日	金州にて

第十六師團馬匹整理部

拍賣馬匹告白

按照以下所定各日發賣中國所產馬匹價値格外從廉有願購者請於以下所開各日之午前九鐘到以下所開列之各處一看爲幸

計開

西曆三月初七至十五日	遼陽城内南門
初八 初九	牛家屯
初九日 至初十	旅順
十一日	瓦房店
十五日	金爲

第十六團馬匹整理部告白

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專營居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尚構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

建築設計依賴に應ず

營口永世街二本町二百五十八號　工棟組

弊店儀從來平野町に於て左の營業致し居候處此度商業擴張の爲左の所へ移轉仕候間倍舊御引立の程奉願上候

豊濟門街李俊の前

ペンキ塗請負京阪組

右今般新着仕候間可成至急御申込願上候

消火器

英治洋行

營口西北寄

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般

營口綏定門街 ブリッジ商會東

喜川鐵工場

御手輕料理

一釜飯御一人前　銀五十錢
一湯豆腐一銅壺　銀二十五錢
一突出しの外は御注文なければ差上不申候

月　日

營口元神廟街二〇九號　翁亭

一昨夜失火の際は皆樣の御盡力に依り幸に倉庫のみにて鎭火仕候段奉難有存候一々拜趨御禮可申上筈に御座候へ共取込の際貴名伺洩れも可有之と存候間此段以紙上御禮申上候

追而座敷むき等には毫も故障無之從前の通り引續き營業罷在候間不相變御引立の程奉願上候

二月六日

營口二本町　祇園閣

火災保險金受領廣告

一、金一百拾五圓廿錢也

右ハ去三日當店離屋燒失ノ保險金トシテ明治火災保險株式會社牛莊代理店三井物產會社支店ヨリ本日受領致候

三月六日

祇園閣　田中寅次郎

旅館讓渡

新築　客室十五間

雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業其儘讓渡し度御企望者は御來談を請ふ

奉天小西邊門外拾間房　浮世館

御旅館

天津

芙蓉館

駐屯軍御用
並西洋料理

會席料理

三日月

營口警務課前南に入る

滿洲大販賣所

營口 池上出張店（張松林邸內）

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

雜貨 すし米

醬油 清酒 大樽半樽

木炭

營口西北街

阪神組

雜貨卸商

在元營口神廟街

關東公司雜貨部

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

本家 日本東京神田鍛冶町 堀內大藥房

淺田飴（あさだあめ）

肺癆痰喘氣急傷風痿嗽小兒風疹病後體弱肺病一切立見奇功

◎たんせき一切◎肺病の特藥◎ひきかぜ◎病後のよわり◎弱き人の滋藥

有名賣藥醫藥醫科器械卸小賣

永世街 東瀛大藥房

房主 藥劑師中馬龍造

石材、碎石

瓦、煉瓦

並に自家製造 廉價販賣

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

營口商業學校招入學生

本學校由客春開學以來肄業諸生頗著成効茲因添建樓宇增設講堂應需器具種々皆備現擬招入第二次學生

宗旨 造成辨公實業家

學科 修身、漢文、詞章、習字、算術、圖畫、地理、歷史、理化、商律、簿記、理財、商品、商業學、日語、英語、体操

資格 十五歲以上文理明通者

學額 五十名

學費 特免惟寄宿舍生自備饌資餘者本校埜辦

入學 陰曆三月初一日

夜班 專爲有志向學而白晝忙於謀生者計每晚兩點鐘之功課授以漢文算術商業學日語以一年爲限

○欲覽各樣詳細章程可到本校索閲

SPECIAL LIGHT

(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり

スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり

スペシャルライト、は其味輕くして高尚なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社

營口發賣 關東公司雜貨部

醇良自釀清酒

札幌ビール

朝日ビール

口付貰大和

酢 醬油 瓶詰樽詰

菓子 罐詰 色々

洋酒類

右取次販賣

牛莊港東營口

宅合名會社 營口支店

ゼム 財茉口中香藥

ゼムハ著大ナル効能ト愛スベキ美味馥郁タル香氣ヲ有スル良劑

財茉者芳香馥郁而美味可愛靈約也

大日本東京 山崎愛國堂 大藥房處修

大清國發賣處 淺野大藥房

營口永世街（二本町）

各國有名靈藥總發賣處

京北 東單牌樓大街路西

扶桑旅館

客室清潔 料理鮮新

營口 本店 彌生 電話四一番

鐵嶺西門外大街 支店 彌生

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主宮下只七郎

一位置 西門より西の方五六軒北側に候

一構造 室內裝飾等日本式 特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣ることなし

一待遇 は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

西洋御料理

一並食 御一人前 一圓

一上等 御一人前 一圓五十錢

一特等 御一人前 二圓

此外御注文に應じ一皿三十錢以上とし仕出の御注文にも速時御間に合ひ可申候

拙亭儀元東營口川岸に於て營口亭事巴屋と稱し營業罷在候處顧客の御勸めに從ひ左の所へ移轉名を改め一層の注意を加へ營業仕候間倍舊御引立の程偏に奉希候敬白

營口永世街第五十二號（鶴の湯東面通）

牛莊亭

（電話一四六番）

工

營口元神廟前

飯塚工程局材料部

（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

上海 中井洋行

專運日本各式紙料

本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡新聞紙料印書藉各式紙料壯果包棉紗料草板紙張日本機器連史紙料及彩印字連墨具他各件紙料一切統由本行出售貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也

中井洋行

[illegible]

營口中央市場前

旅館 東京樓

店主 熊田兼次郎

（電話百七十八番）

即席和洋料理 東京樓支店

（電話四十四番）

西洋料理仕出し御需應にず

奉天日本旅館

瀋陽館

家屋宏壯清潔

接待優遇懇切

開放全時一開業

奉天小西門外十字路北

時刻

唐山至天津　上六、二二　上一一、二八
塘沽至北京　上六、〇〇　下一二、〇六
天津至北京　上一二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、　下六、四五
天津至山海關　上六、二五　下六、二一
唐山至山海關　上六、〇〇　上一一、五八
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝邦子至新民　上三、〇〇　下六、五七

遼陽　奉天　上り列車　若午後　一二、〇六
奉天　午前　一一、〇〇

大連旅順間　大連　發午前　七、三〇　旅順　着　一〇、四九

營口大石橋　上り列車　營口發午後　一〇、二五　大石橋着午前　一二、二〇

豫報

北の風晴れ
昨日の氣溫　最高溫度二十八度四　最低溫度九度九
昨年との比　高六度三　高七度一

事件

澤尙李三大臣行程日記

述伊藤侯講演憲法

中歷正月初五日（西歷正月二十八日）午後二時至四時半伊藤博文至芝離宮講演憲政在座聽講者爲澤公尙李一大臣及叅隨中能解英日二國語言者數人伊藤用英語講演口譯者恭贊柏銳筆記者隨員錢承誌

今日所談不過憲政之要目其詳細之處本非數言所能盡閱此二書（指所携來之日本憲法義解皇室典範二種並有英譯者二冊）可知大槪此二者乃余從前舊著實日本憲政之根本其中名詞當撰定時頗費斟酌皆有確定不移之義地球各國政治上相同之處甚多余輩就其不同之處而研究之各國政體可分二種一君主國一民主國君主國中又分二種有專制君主國有立憲君主國貴國數千年來爲專制君主國主權在君而不在民實與日本相同貴國欲輸入文明必須叅以民權如言論自由等事此自由乃法律所定出自政府所畀與而非人民之可隨意也須知立憲政體與民主政體有絕異之處一則主權在民一則主權在君故雖立憲以後於君主國之國體仍無窒礙貴國爲君主國主權必須集于君主一人之身日本憲法第三四條天皇神聖不可侵犯天皇爲國之元首總攬統治權云云皆此意也唯立憲君主國與專制君主國不同之點其最關緊要者立憲國之法律必經議會協贊（憲法第五六條）凡法律之制定改正廢止三者必經議會之議決然後裁可公布非如專制國之法律以君主一人之意見而言之也其次緊要之事凡法律當裁可公布之後全國人民相率遵守無一人不受治于此法律之下蓋法律之效力及于全國全國皆同一法律也貴國十八行省往往各定章程久之成爲定例彼此有互相歧異之處立憲國之法律必全國統一者也其次（憲法第七條）爲君主之議會召集權凡開會閉會停會及下議院之解散必俟君主之勅令而行否則議員隨意集會不得謂之正式國會其次（第八條）爲緊急命令權凡遇緊急事故當議會閉會之時可發緊急勅令以代法律以議院當閉會之時不能討議故也此勅令于次期開會時提出議院使之承認其次則爲官吏任命權（第十條）一國之官制有文武之分有中央地方之別而任命之大權則必操之于君主其次則爲統率權（第十一條）凡統制海陸軍及酌定軍額之事皆君主大權內之事失此權力則成共和之國凡軍額之多寡平時戰時必須分別編制平時兵額太多則軍費不易籌戰時不能充足其數則又無以禦國難其次則爲宣戰講和訂結條約之權（第十四條）凡宣戰講和罰約由君主命諸臣工使之集議議定請君主裁可而施行之其次則爲戒嚴權（第十四條）國家當有事之時法律之效力有時停止或全部停止裁判之權歸之於君主掌握此戒嚴之權必由君主宣告其次則爲榮典授與權（第十五條）民主國以平等爲主義大統領退職之後與市民無異君主之國必有幾種階級以表異于齊民故爵位勛章及其他封典之授與其權必操諸君主而爲君主國之要政也其次則爲特赦權（第十六條）凡已宣告刑罰之人君主有特赦之權刑罰之宣告歸之于裁判君主未嘗干涉也而大赦特赦等權則仍操之於君主其次則爲攝政（第十七條君主尙未成年之時或精神有故障必置攝政攝政之人據皇室典範所規定攝政者可代行君主之大權者也以上論君主之大權日本憲法中言君主大權之事共有十七條貴國爲君主國以上所論種種大權將來施行憲法之時必須歸之君主而不可旁落者也余甚希望貴國爲立憲君主國故於此節特詳其憲法之第二章則爲臣民權利義務而言政治學及憲法學範圍廣大非一二年之功不能盡解今所談者不過大略余之著此二書大半皆余之實歷非如學問家之研究其理而已至於貴國未實行立憲政治之時其方法秩序若何問題甚大不易解決以中國幅員廣大不但各省風俗民情殊異即語言不同之處亦多且交通未闢風氣難開非如敝國國小而民俗又大半相同交通又甚便利之易爲功也故此問題請俟他日再詳述之

東京電報

●美國公使警告防制匪徒

日前日本政府致忠言於中國勸其鎭靜匪徒於未發之前一事已誌本報頃駐京美國公使亦警告外部請其防制匪徒云

●駐俄日本公使之赴任

駐俄日本公使本野君於西本月一日由佛京就赴任之途刻已抵俄京云

（以上西三月七日發）

中外要聞

●催辦俄約　聞內廷消息云日昨兩宮召見慶邸催詢中俄議約之事慶邸遂遞畧節一紙兩宮已留中叅酌矣又聞此畧節內開均係俄人必要之地共十二條云

●加稅免釐　昨政府會議實行加稅裁釐一事誠恐於籌欵大有妨礙徒滋煩擾現擬通咨各省督撫體察情形一律仿照江西試辦統捐庶使收稅日增款有餘綽云

●外部接四國照會　昨外部接到英美法俄四國照會四件堂官尙未交下但聞俄照會係請外部大臣定期赴俄館議商事件云

●委紳調查土店銷路　聞湖北省運日警察局派委紳士多人分段向各土店查賬目每年實銷土膏若干以便造册呈報聞此舉盖爲官賣鴉片煙之地步云

●愼重交代　各州縣官遇升遷調補及卸任交代將存匱存庫號箱並存倉廒各册新任官到任今前任官應造簡明總册于三日內移交其應行交代堂行簿串根册籍批領卷宗四柱册及一應自理詞訟文册均應限半月內交淸如有舛錯案據不全新任官向承辦追比飭一月之內務將應交册卷追齊查核後咨送云云

●新訂稅則　奏准訂正全書開載地丁原額繼開荒廢次開寔徵起存起運則分別部院倉廒存留欵項數目今改定起運漕白二粮其運丁行月今改折南粮南運今改抵軍需其官員經費定有新規今擬裁冗改歸正項本色絹布顏料銀硃銅錫茶蠟等項已經改折者按奏定價值開列務當綱目畢張總數相符所有續增地丁飭督撫於歲終彚題聽候戶部查核云云

●飭查祠宇　政府諭飭各省州縣查本屬忠義節孝祠宇如久圯塌者應飭承辦之員賠修

●稽查未淸錢粮　戶部議准各省每年未淸錢粮後雖挨各項歸結但不肖官不實心奉行往往別生枝節故意躭延不免舛錯遺漏遲延諸弊論令巡撫布政使每年冬杪將現在未完各項事件分晰造簡明册送部以便稽察

●奏銷覈實　政府諭飭戶工二部堂官一應奏銷賦銀並各物價工料詳細察覈實在開造淸册具奏不准虛開浮估如有以少作多以賤作貴數目不符覈估不實者事覺之日將該部堂司各官從重治罪云云

●追賠虧空　戶部奏准承追錢粮虧空侵挪賍罰贖鍰代賠分賠等項先將庫存銀錢倉存租息米穀收淸次查交存官物田房有無抵換盜賣倒塌荒廢私占私侵及分賠案內倉穀官物有無霉變短少未變價值是否敷足未完銀米是否有著確據原案遵照定限淸查造具詳細之册送戶部查核

●集股開礦　熱河塔子溝各紳董集股開辦金礦一節早誌各報現在已將礦務局遷移熱河衙門以內刻間欵不敷用日前有紳商董立泉來京稟請某大老入股銀兩萬兩日昨該紳持有執照起行赴東矣

●錢粮彚誌　聞貴州通省地丁錢粮不足十萬兩之譜若照成例止有經徵各官禆有議叙督催各官雖効力終不得與聞政府定擬或照十萬兩以下一年內全完之例議叙或二三年督催全完者再行給與議叙著戶部會同吏部定例議奏云云又議准浙省額徵南秋等米除給本處兵餉外餘解省倉支給滿漢官兵俸餉織造匠粮此項因係冬徵彚入奏銷案內徵解遲延止于罰俸累累拖欠應另行奏銷飭將已完未完各數目咨報戶部以備核銷云又聞戶部議准各省經徵地丁錢粮州縣官有未完不及一分者免其置議應飭罰俸六個月至二分三分應降二級五分六分以上應革職皆應代罪催徵完日後准其開復

雜報

●乘車被竊　有一錦州李姓者身帶手票五百元錢袋一具內計小銀元二百元現隨火車來營販買洋線至溝邦子忽遇一鄉隣自云蛤螞石冷姓二人談論頗爲知己在河北下車之時天已昏暮冷姓不辭而去李姓檢點物件失一錢袋始知被冷姓竊去李訪尋幾遍竟無踪影云云

●監督曉諭照錄　大日本帝國營口軍政署監督與倉爲出示曉諭事照得貨財爲商業發達之資幣制實貿易繁興之具故須法必劃一乃可通行更要製造無訛始堪信用熟考本埠幣制雜亂紛繁貴賤低昂莫知所向故有愛爽錢者有好人龍錢有擇大邊錢者此外猶有抹銀錦寶小洋錢等其製造不同嗜好各殊不可名爲市幣流通又不適爲公認法貨至於軍用手票大軍所用庶民咸悅南滿洲到處通行本埠亦交易稱便然自和平克復後逐漸收回代以橫濱正金銀行牛莊支店之票關東總督諭示確有明文橫濱正金銀行牛庄支店所發之鈔票其有持票至該行兌換需用者立將品質九成色之銀圓兌換凡未收盡之手票與鈔票及銀圓等皆爲市幣流通用此票與銀圓充兌買賣存欠各項賬簿實爲市幣流通公認法貨其他貨幣除合意交易外不爲公認示爾闔屬人民一体遵照勿違特示

●汽車軋斃軌役　昨由溝幇子來人云該處鐵軌有掛車鈎之役某甲前日將掛車鈎正扣樞鐶而車適行甲踣身輪下横軋而過双股齊斷立時斃命見者無不慘焉

NEWCHWANG, THURSDAY, MARCH 8, 1906.

The closing exercises of the Niuchiatun Military Club were opened at 2 p.m. with the singing of hymns in presence of a crowded attendence, and were followed with an impressive address by Mr. G. Gleason, Hon. Secy. of the Y.M.C.A. The efforts of the lady-quartete composed by Mesdames McCaslin, Smith, and Van Ess, and Miss Bandinel were highly appreciated. Mr. Kurosawa, Chairman of the Local Committee, delivered a dual address in English and Japanese, enlarging upon the lasting fruits of the Club work borne by the thousands of soldiers back to their native homes, and paying a handsome tribute to the energetic co-operation of many Newchwang ladies towards ensuring a success to the work. A duet by Mr. and Mrs. Gleason, the lady playing on the piano with more than usual felicity, was received with a deserved admiration. Addresses by the guests were led by Capt. Horikoshi, acting for the Administrator Lt.-Col. Yokura in his temporary absence. Capt. Bando of the Niuchiatun Supply Depot representing Maj. Kaneko who was also away, and Maj. Tsuda of the Garrison followed.

Mr. Sammons, American Consul-General made a happy reference in his speech to the universal benevolent labours of the International Y.M.C.A., among whose distinguished patrons President Roosevelt and T. I. M.'s the Emperor and Empress of Japan figure in the fore. Rev. Mr. Webster took up the same strain, alluding to H. B. M. King Edward whose warm interest in the institution has been manifested by knighting its venerable founder Mr. Geo. Williams. The speaker informed the audience that buttons alone among many other less trivial dispensations, altogether 23,000 in number, had been sewed on at the Club by the Japanese soldiers, from whose clothes those temporal catches might easily fall off, but he hoped the good seeds sown in their hearts at their favourite resort there would grow up to reap them a spiritual harvest of plenty. The exercises were concluded with the offering of a benediction by the same gentleman.

The thaw being in full swing, the approaches to the Club were found in an excessively wretched condition. This disagreeable feature, however, to the foreign guests especially to the ladies was, we trust, put up with in the best humour, seeing that the thanks they earned from the Japanese participants were all the more deeper.

The above event took place on the 28th. ult., the account of which is given with an apology for the delay.

Messrs. Nikitine, McAllum, Bauer, Moore, Capt. Yotsumoto, the new Asst. Administrator, and Mr. Okabe were entertained at a bachelors' tiffin by Mr. Kurosawa yesterday.

Mr. Geo. G. Wilson formerly master-workman of the London Missionary Society and now connected with the Tientsin architect Mr. Anderson came here Tuesday evening and is at the 'Stone House.' He intends to start north to-day to superintend the building of the Scotch Missionary premises at Liaoyang and Mukden.

The snow has completely disappeared from the ground except a little in the shade or in the crevices. The temperature has risen correspondingly and the atmosphere in the sun is laden with the fresh balm of the spring. The ice of the River is predicted to get loosened within a fortnight, promising the re-opening of the port before the month is over.

Another ¾ sen slide. How soon will silver go down to the very point where it first started upward and in that event. would it stop there?

EXCHANGE QUOTATIONS—(Mar. 7, 1906).

JAPAN	Bank T.T. 98½		LONDON	Bank T.T. 2/- 1/16	
	" Dem'd 98¾			" De'd 2/-1/8	
	P'ate 15 d/s. 99½			Cr. 4 m/s. 2/-¾	
SHANGHAI	Bank T.T. 70¾		AMERICA	Bank T.T. 48¾	
	" Dem'd 71			" Dem'd 49	
	P'ate 15 d/s. 72			Cr, 4 m/s. 50¼	
TIENTSIN	Bank T.T. 102½		Bar silver - - - - 29⅞		
	" Dem'd 102¼				
	P'ate 10d/s. 101¼				

The "M. D. R." Relief Subscriptions, (No. 5.)
(Closed on the 28th. ult.) - - $295.00
Contributions collected at St. Nicholas Church by Rev. Mr. Sprent - - 31.00
$326.00

營口旅館料理店案内 (いろは順)

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 粕屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川兼三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館料理 高砂ホテル

料理 高砂亭 西北街 店州 片山小みつ (電話一四五番)

旅館 竹村館 永世街二十二號 (電話五一) 店主 麻田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟 (電話百五十九)

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡 ■人

御料理 一力 並ニ温泉 毎月新湯 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園捷

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 御料理 主任 西野治三郎

會席御料理 來々亭 主任 石田清

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

旅館 富喜樓

室内は極清潔防寒之設備あり 鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候

鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

御旅館 豊陽館 上海(電話一〇六番)

日本郵船會社荷客取扱 歐米滊船乗船取扱 館主 米田藤吉

西海洋服店 歐米各國最新流行形 永世街一四二(森病院三軒目) (電話百二十七號)

満月 平の内(電話 番) 料理 満月支店 平の内元都楼跡 店主 吉本勝熊

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉强仕候

二奉天支店も本店同様に大勉强仕候間御光來被成下度候

營口永世街二本町 日本館本店(電話百三十番)

奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店

各位樣 (電話十九番)

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ

●活動大寫眞

●日俄戰況幷ニ餘興元祿踊等種々

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合

一關内外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店内派出員ニテ事務取扱

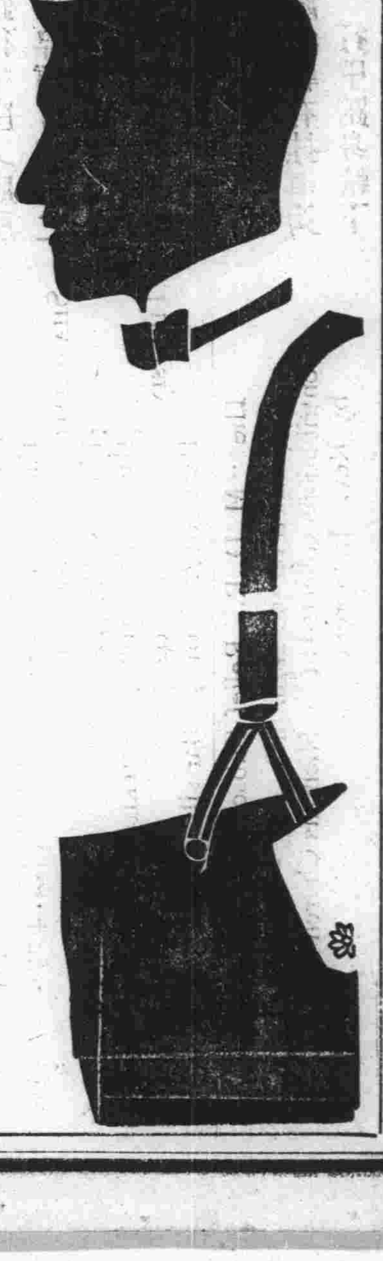
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號 大清通運公司 營口支店



新着! 舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、

雛人形 東京市松、はこせこ、鏡入、貰入、蒔繪貰入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、

元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、

營口 加藤洋行 (電話八十番)

發賣 料木 標子 木板

清國營口二本町二五五號

塩川商會 主任 塩川峰吉 (電話一三六番)

遼陽小西門内 塩川商會

●建築用材北海道産松大角(自二十尺至三十尺)一万立方尺餘 外に電柱用材杉丸太長(自廿五尺至三十尺)八千本

右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓

○上等日本米 一石に付 銀二十圓

○板材木 ○木炭

○亞鉛板 ○洋釘

○干鰛魚 ○石灰

喜久洋行 永世街八十號(電話百五十二番)

御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也

大連 東洋ホテル 大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣

營口青堆子 清水寧木局

為替相場 (三月三日)

日本向 一百圓五十錢 (軍票百圓に付)

上海向 七十一兩 (同)

天津向 一百〇二圓二十五錢 (百弗に付)

芝罘向 天津向ト仝

日本品最近物價表 加藤洋行

紙類

一半紙 一〆 二圓九十錢より三圓廿錢

一美濃紙 仝 七圓五十錢

一仙花紙 一貼(六十枚) 六十錢

一仝 二十枚續 三錢二厘以上四錢

一状袋 百枚 十三錢以上十八錢

室内装飾品及寢具 矢野洋行

一蒲團 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓

一座ブトン 十帖 六圓五十錢以上三十五圓

一疊 二圓六十錢以上三圓

一薄椽 十枚 八圓

一麻緞通 一疊敷 三圓

一綿緞通 仝 三圓五十錢

一白加多織 仝 一圓七十錢

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month
$2.30 per 3 months.

本紙定價

一枚ニ付 銀四仙

一ヶ月前金 銀八十仙

半ヶ年前金 四弗八十仙

一ヶ年前金 銀九弗六十仙